

# 一般質問

## 市民クラブ

### 新たな文化施設の進捗

**問** 県庁跡地で本格的な埋蔵物の確認調査が行われ、完成時期がさらに遅れる場合でも、新たな文化施設を現市庁舎跡地へ整備する考えはないか。

**答** 新たな文化施設を現市庁舎跡地に建設する場合、建物の完成は令和8年度になるのではないかと考えており、現時点においても県庁舎跡地のほうが早期に完成できると見込んでいます。しかし、県が実施する確認調査の結果次第では、さらなる調査が必要となることから、その動向を注視しながら、現市庁舎跡地で整備した場合の完成時期も念頭に置いた上で判断していきたい。本市としても、新たな文化施設の整備を着実に進め、できるだけ早く提供できるように努めていく。

### 光回線整備の検討状況

**問** 光回線を利用した高速通信が利用できない外海地区など一部の地域の整備について、今後どのように進めるのか。

**答** 新たな重点プロジェクトである「まちをつなげるプロジェクト」において、本市が一定の財政負担を行い、市内全域を超高速度インターネットサービスの提供エリアとする取り組みを掲げているが、その環境整備のための事業費は相当な額になると想定している。今年度から、新たな国の施策として、民間事業者が行う環境整備にも補助が行われることとなったことから、この補助に採択される事業計画策定のため、整備主体や有利な地方債の活用などについて、今後具体的な検討を進めていきたい。

### 長崎開港450周年記念事業

**問** 令和3年4月に長崎開港450周年の記念日を迎えるに当たり、今後の取り組みを伺いたい。

**答** 本市では、港とともに歩んできた長崎の歴史と魅力を発信するため、記念事業を実施予定であり、8月22日に県、市、商工会議所を主体に、港に関する関係機関などからなる官民一体となった長崎開港450周年記念事業実行委員会を設立した。

今後、ワーキンググループにおいて、長崎に愛着を持てるようなイベントの検討や、次の50年を見据えた港の活かし方や海の楽しみ方を含めた長崎の港の役割や将来像の検討などの取り組みを進めたい。

# 自民創生

## 公用車の青パト化

**問** 本市で推進している青パト活動の現状を伺いたい。また、本市の公用車を可能な限り、青パト化する考えはないか。

**答** 防犯活動の一つである青パトによる自主防犯パトロールは、現在、18の民間団体が活動しており、9月下旬には、さらに1団体が活動を開始する予定である。

本市では、公用車16台を青パト車両として登録しており、これらを活用することで、防犯活動の充実のみならず、職員の防犯意識や交通安全意識の醸成にもつなげていく必要があるため、今後も公用車による青パト活動の徹底を図りたい。また、青パト車両に登録していない公用車についても、順次、拡大に努めていきたい。



▲公用車の青パト車両

## 長崎南北幹線道路の整備促進

**問** 未整備区間の早期事業化について、現在の進捗を伺いたい。

**答** 長崎南北幹線道路は、市北部の慢性的な交通渋滞の緩和だけでなく、西彼杵道路と一体となり、交流人口の拡大や災害時のダブルネットワークとして非常に重要な路線であり、その早期事業化は喫緊の課題と認識している。

本市としても国や県に対し、要望活動を継続的に実施してきた結果、8月27日に県知事から、未整備区間の茂里町から時津町までの区間についてルート選定組織を立ち上げ、早期の新規事業化を目指すとの回答があり、事業化に向けて大きく前進した。

今後とも関係者の方々と連携し、一日も早い事業化を目指して積極的に推進していきたい。

